

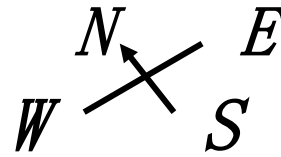
藤 沢

エコネット

藤沢環境運動市民連絡会
(略称) 藤沢エコネット

2020年3月1日

第310号



主
な
記
事

- ・外来種に注意を ・市長選挙結果
- ・「気候異常事態を考えよう」
- ・色褪せた国 ・放射能測定

<http://econet2015.sakura.ne.jp>

事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳

☎ / F A X 0466-87-4922

東電原発事故から9年 浮上して来た「甲状腺検査中止論」

原発事故から9年経っても、福島県内の1年間の被ばく許容限度は国際基準の実に20倍、20ミリシーベルトのままです。汚染地に住む人々は、この9年間被ばくし続けています。健康被害が心配です。とくに、子どもへの影響は大人への影響よりも強いことが懸念されます。

2020年2月13日、福島県の県民健康調査検討委員会が開催されました。最新データで甲状腺がんとその疑いは237名。県立医大で手術したものの、集計外になっている12人を加えると、249名の小児甲状腺がんが判明しています。この他に県立医大以外で手術した事例があるはずで、実数はつかめていません。

同日、NHK福島は「甲状腺学校検査反対で実態調査」というニュースを伝えました。

甲状腺検査について、手術の必要がないがんまで見つけてしまう「過剰診断」の可能性を指摘する専門家から、学校で一斉に検査することに反対する意見が出され、検査の実態を学校関係者から聞き取ることにしたということです。

検査が過剰診断になりかねないという意見は、これまでも出されてきました。これに対し、手術を担当している鈴木眞一医師は、必要な手術をしており、手術は適正に行われていると言っています。実際に転移している例も多く、検査がなければ、発見はますます手遅れになってしまう可能性があります。

そういう恐れがあるにも関わらず、今度は甲状腺検査の中止を主張する国会議員が出て来たのです。2月19日の参議院の「資源エネルギーに関する調査会」でのこと。日本維新の会の音喜多駿議員は環境省への質問を繰り返しながら「原発事故と甲状腺がん罹患についての因果関係はありません」と断言し、福島の子どもの甲状腺がんは3・11放射線事故由来のものではないことがわかったのだから、学校での検査は廃止を含めて、検討すべきだ。風評被害を防止するためにも、検査を中止したほうがいい、検査は、「過剰診断」によって見つけなくてもいい癌を発見しているのであり、子どもにとっては弊害が多いと強調しました。

公式には、甲状腺がんと被ばくの関係は考えにくいとされていますが、福島でこれだけの甲状腺がんが見つかることは重大なことです。こどもの命を守ることを最優先にするなら、甲状腺学校検査は継続しなくてはなりません。(すどうゆりこ)



いけのかしら公園
(遠藤公民館裏)のしだれ梅

若者たちの参加こそ希望！！

2月23日（日）気候危機を考える～気候カフェ～がエコストアパパラギで行われました。鎌倉市の気候非常事態宣言と鎌倉気候マーチについて、プラスチックフリージャパンの小島政行氏からの報告を受けて意見交換をしました。

鎌倉では、2、3年前からSDGs未来塾で中高校生を含めてセミナーを行ってきました。また、市庁舎からペットボトル自販機を撤去し、紙カップ式への切替えを要請し、実現。プラゴミゼロ宣言、SDGs未来都市宣言に繋がりました。10月4日に台風15号による被害が出たことで議員提案による「気候非常事態宣言」が市議会で決議されました。高校生たちが市長と面談し、市長宣言を要請し、12月22日の鎌倉気候マーチの先頭に立ち、2月7日の市長による宣言となりました。

今後、鎌倉では、4月5日（日）の「気候フォーラム」東大名誉教授山本良一氏の基調講演を受けて、「市民による気候非常事態宣言」を行う予定。4月18日（土）には、気候マーチ SPRING など多彩な催しを企画しています。

さらに、2月7日に神奈川県知事が宣言し、歴代環境大臣の呼びかけで国レベルの「気候非常事態宣言」をめざす超党派の議員連盟が発足したことなどを踏まえ、藤沢での今後の取り組みについて意見を出し合いました。

- ・市民宣言、市長宣言、議会宣言、大学・企業宣言等を並行して取り組み、危機意識の共有が実現するといいね。
- ・若い参加者の「本気でやります」との発言を受け、自分たちでできることを考え行動することになった。
- ・宣言文は市民全員が共有するもので、非常事態へ市民の行動を呼びかける視点が必要だ。
- ・若者たちの行動が希望、しかし、若い人に来て欲しいだけでは来ない。若者がやっていることを一緒にやる中で若者の意見を聞こう。
- ・鎌倉で4月に行われる気候フォーラムや気候マーチに参加し、経験を交流し、藤沢での気候マーチに繋がりたい。

次回準備会では、具体的に何を行うか検討しようということになりました。（宮地俊作）

藤沢市長選挙結果から

2月16日4年に1度の市長選挙が行われた。

現職の鈴木つねおさんが自民、立憲民主の支援を受け、得票約5万9千票（約57％）を取り三選した。新人で元県議の加藤なを子さんが共産推薦、みどりの党の支援を受けたが得票約1万9千票（約18％）、元衆院議員の水戸まさしさんは得票約2万5千票（約24％）で及ばなかった。

投票率は過去3番目に低い29.27％。投票した人は、3人に1人だった。全国平均では、昨年59市長選で47.5％。それに比べても前回市長選（27.81％）とともに、今回の選挙は危機的に低いのではないだろうか。

低い理由は何だろう。

「争点が分からない」「誰が市長になろうと暮らしは変わらない」「自分の1票で政治が変わるとは思えない」など理由は様々あると思う。特に格差がひろがる現実の中で、“政治へのあきらめ”そして“無関心”が広がっているように思う。

主権者教育の大切さ—社会の在り方、政治の在り方を決めるのは自分、だからみずから考えて行動する人に。将来もっと暮らしやすくできるのだという希望を持つ事の大切さを思う。

今回の市長選の環境に関する争点は藤沢エコネットのアンケートから見ると、村岡新駅建設問題だった。鈴木恒夫市長は街づくりの視点で建設賛成、他の2人は主に経済的視点から建設反対の意見だった。気候変動に関しては3人とも危機意識が高く、気候非常事態宣言をする方向であった。

市政で大切なのは、市民の生活がより充実するよう、豊かに子育て・教育、安定した生活、老後生活の安心を保障する事、すなわち“福祉”を中心課題におく事だろうと思う。（青柳節子）



放射能測定値(市民計測)

(HORIBA Radi) 単位 (μSv/h) 地上50cm

2/24	少年の森	管理棟南広場	0.024
2/24	〃	駐車場	0.025
2/21	辻堂神台公園	中央芝生	0.035
2/21	〃	遊具場コンクリート上	0.042

こんな外来種に注意を

神奈川県内の要注意外来種リスト（ブルーリスト）発表のシンポが開かれました。生物多様性を意識し保全するためにリストを作りどのような現状か、今後はどうなるかなどのお話でした。主催は NPO 神奈川県自然保護協会で 1/25 日大の講堂には多くの方が集い、関心の高さがうかがえました。

植物、昆虫、鳥類、淡水魚、哺乳類などの分野別に調査研究した結果を発表され、また「かながわの自然」に掲載、改定版を 3 月に発行するとのことです。

県内に多くの外来種が侵入し生活や生態系に大きな影響を与えていると言います。以下に要旨を少し記します。

外来種のランクは 次の 4 つに分けられる。

A＝すぐ防除必要

B＝ホットスポットや保全地域で防除が望まれる

S＝侵入すると危険性が大きい

C＝それ以外の一般外来種

このうち A と B だけで 220 種あります。

種の名前はカタカナで現わしているので難しく覚えきれないのですが、知っているものもあります。

植物は県要注意外来種のリスト作成では ①人体の健康への危険性（有毒 重み大）②産業への被害（重み大）③生態系や在来種への影響 ④景観や生活環境への影響（鳴き声など）4 つの基準で作成した。

県内で 1039 種(2018 年)のうち A が 18、B が 64 種。知っているものでは、ホテイアオイが A で、セイタカアワダチソウは B ランクである。

昆虫については 3 種が A ランク 話題のアカヒアリ(ヒアリ)は、S ランクで A に近い

爬虫類・両生類・哺乳類では他の種に比べ種数が少ないが、野外で増殖し、本来の風土を乱すためアライグマやクリハラリス(台湾リス)など病気の伝搬、食害などに影響を及ぼすため駆除が必要である。

神奈川県の取り組みでは生物多様性計画の体系を作り、6 つのエリアに分け、それぞれ特色があるので適した取り組みをしている。(図を参照)

①丹沢エリア ②箱根エリア ③山麓の里山エリア

④都市・近郊エリア ⑤三浦半島エリア

⑥河川・湖沼及び沿岸エリア



山地・森林生態系

山地の森林を主体として、溪流や湧水なども要素として構成

里山・農地生態系

水田などの農地と周辺の二次林を中心として、集落や水路、ため池なども要素として構成

陸水生態系と沿岸域

河川や湖沼、藻場や干潟を含む内湾を中心とした沿岸域を要素として構成

都市生態系

陸水生態系と沿岸域 河川や湖沼、藻場や干潟を含む

エリアをまたぐ取り組みもある。また生物多様性の保全のための行動の促進として、情報の収集・発信、環境学習・教育の推進などである。(荒井)

福島っ子リフレッシュ について

福島っ子リフレッシュは3月25日から29日に3泊4日で行うことになりチラシ配布や下見、募集を始め準備を進めてきました。新型コロナウイルスによる肺炎の拡散により、今回は中止せざるを得ませんでした。

すでにたくさんの方からご支援をいただいていた感謝申し上げます。次回の福島っ子リフレッシュに使わせていただきます。楽しみにしている福島の親子や私たち主催者も気を付けるための手立てが見当たらない状況です。

この事業はこれからも続けて行う予定ですが、今年に限っては東京オリンピックもありますので、夏休みのリフレッシュもできなくなり、9月の連休に行う予定です。何卒ご理解をいただき、これからもご支援をよろしくお願いいたします。

(福島子どもたちとともに湘南の会)

「色褪せた国」

皆様、写真は八丈島沖でイルカのお出迎え！2か月ぶりの母港横須賀深浦港に帰着しました。

さて、プラスチックが海を汚染するだけでなく私達の体を蝕んでいる事実。月刊誌「DAYSJAPAN」



2018.6は知らせてくれています。
https://days-japan.net/2018/06/20/days-japan2018_7/

3年にわたりミクロネシアの島々を訪問してきました。航海中“お守り”のように持っていた「ミクロネシア連邦憲法前文」



https://blog.goo.ne.jp/santikazushi/e/b75217d548efc71d4bbf0cc7c82eb9a9

はきつい運航時でも常に自分を奮起してくれました。

最終地パラオ共和国は、世界に先駆けて「非核憲法」を創った事で知られています。

そして、2017年の国連での「核兵器禁止条約」に対して世界で8番目に批准しました。

G7首脳会談による「海洋プラスチック憲章」に、髪がテフロン加工の“俺様”の国と一緒に署名しなかった日本。世界に誇れる「平和憲法」まで反故にする日本。「開発途上国」と言われる小さな国々に身を置き祖国を見ると、日本は増々「色褪せた国」に見えてしまうのでした。

（武本匡弘、2018.6 環境活動家、連載終り ありがとうございました、是非どこかでお会いしましょう！）



ECONET INFORMATION

▲朗読劇「線量計は鳴る」

中村敦夫出演

3月7日（土）14:00 ￥2300

あーすプラザ2Fホール(本郷台駅から3分)

☎ 045-890-1447

主催 かながわ原発訴訟原告団



▲第7回ふじさわ平和文化展

3/24～3/29

藤沢市民ギャラリー(小田急湘南GATE店)6階

▲気候危機セミナー

基礎講演 山本良一さん(東京大学名誉教授)

活動報告他

4月5日(日) 13:30-16:30 無料

鎌倉商工会議所地下ホール

主催 特定非営利法人プラスチックフリージャパン

▲かまくら気候マーチ

4/18(土)15:00 集合 小雨決行

鎌倉海浜公園 由比ガ浜地区から 二の鳥居まで

主催 特定非営利法人プラスチックフリージャパン



▲藤沢エコネットから

◆学習会「気候非常事態を考えよう」

日時：3月20日（祝金）13:30-

場所：湘南台公民館第3談話室 参加費 300円

申込先：青柳 E-メール: aoyagi6090@gmail.com

◆会員募集 年会費・購読料→2000円

ゆうちょ銀行 (9900) 店番 (029)

当座預金 0046501 77 77 ネット

◆事務局会議 3月7日（土）10:00～

市民活動プラザむつあい

《編集後記》3・11 福島原発事故から9年、同時に電源を失う危機にあった女川原発2号機(宮城県・東北電力)が2月に再稼働適合となった。海拔29mの防潮堤800m等安全対策費は3400億円。しかし今後地元自治体同意手続きが必要。

新型コロナウイルスによる肺炎は世界的に広がりWHOは危険性最高に。安倍首相は突然小中高に3月2日から春休みまでの一斉休校を要請。期末時期でもあり、大混乱を招いている。検査体制の充実、保険適用を早急に。正しい手洗い・マスクの使い方を。(A)